

平成23年4月
大野市（福井県）

I. 平成22年度フォローアップ結果のポイント

○計画期間：平成20年7月～平成25年3月（4年9月）

1. 概況

平成20年7月の基本計画認定後、観光客等の来訪者を受け入れる仕組みづくりが重要であるとして、越前おおの結ステーションの整備を最優先に進め、平成22年9月にすべての施設の供用を開始した。また、平成22年3月21日から平成23年2月6日にかけて「越前大野城築城430年祭」を実施し、市民総出によるまちづくりの機運を高める事業を展開した。

まちなかの魅力を高めるため、平成22年5月にまちなかの身近な情報を伝える案内人「まちかどのキラリさん」18人が委嘱されたほか、同年10月には、市内34店舗の商品やサービスと交換できる引換券のついた「越前おおの 食べ歩き・見て歩きマップ」の販売が開始された。

五番商店街では、平成22年3月に福井県の元気再生計画を策定し、「地産地消テントマーケット」などの事業が動き出した。同商店街にある大型空き店舗（旧Fマート）の利活用については、経済産業省の支援を受けて事業着手に向けた検討を行った。そのほかの商店街でも独自の新しい取組みが定着しつつある。

大野市役所に隣接する公共施設「多田記念大野有終会館」を増改築し、保健・医療・福祉サービスの拠点施設を整備する工事が平成22年11月に着工した。

JR越前大野駅前では、駅前広場を「自然、文化、人との出会い空間」として整備する工事が平成22年11月に着工した。駅前とまちなかを巡る「越前おおの まちなか循環バス」の試験運行は2カ年目を迎え、平成22年10月に一部ダイヤおよび運行方法を変更し、利用ニーズを反映させた取組みを進めたことで、利用割合は増加した。

基本計画の主要事業は、ほぼ計画どおりに実施されており、掲載する64事業のうち18事業が完了、ソフト事業など35事業が実施中、工事など6事業が着手中、5事業が未着手の状況である。

2. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値 (年)	目標値 (H24)	最新値 (H22)	前回の 見通し	今回の 見通し
まちなか観光による交流人口の増加	関連施設の年間入込み客数（中心市街地主要5施設）	80,234人 (H19)	100,000人	144,069人	①	①
商店街を中心としたまちなか生活の充実	1日当たりの歩行者通行量（休日6地点）	2,001人 (H19)	2,400人	3,684人	①	①

注) ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。

②取組の進捗状況は概ね予定通りだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

③取組の進捗状況は予定通りではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。

④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

⑤取組が実施されていないため、今回は評価対象外。

3. 目標達成見通しの理由

関連施設の年間入込み客数（中心市街地主要5施設）について

- ・結ステーションが完成し、年間を通じて開催した「越前大野城築城430年祭」の効果もあり、入込み客数は大幅に増加。目標を上回った。
- ・430年祭を通して生まれた「市民力」「地域力」を活かしたまちづくりを進めることで、観光客やリピーターの確保に努めることから、目標達成可能であると見込まれる。

1日当たりの歩行者通行量（休日6地点）について

- ・平成22年の歩行者通行量調査では3,684人となり、過去最高を更新し、目標を上回った。基本計画認定後に商店街等が始めた百円市等(毎月第1日曜、他)が定着してきたことに加え、年間を通じて開催した430年祭の効果が出たものと考えられる。
- ・結ステーションが供用開始され、輝（キラリ）センターや越前おおの結楽座、平成大野屋等を中心に来訪者を効果的にまちなかへ誘導できる流れができつつあることから、目標達成可能であると見込まれる。

4. 前回フォローアップと見通しが変わった場合の理由

前回と変更なし。

5. 今後の対策

- ・「越前大野城築城430年祭」を通して全国に発信できた本市が誇る魅力（越前おおのの人や歴史、文化、あるいは自然環境や食など）を、今後のリピーター確保につなげ、まちなかの賑わいの創出につなげていく。
- ・越前おおの結ステーションを中心に、来訪者をまちなかへ誘導するため、商店街や商工会議所による商業・サービスの魅力強化を図るための取組みをより一層進めていく。
- ・今後とも基本計画掲載事業を積極的に推進していくとともに、空き店舗の活用事業が具体化した段階など、必要に応じて、基本計画への事業の追加を検討していく。

II. 目標毎のフォローアップ結果「(まちなか観光による交流人口の増加)」

「関連施設の年間入込み客数（中心市街地主要5施設）」

※目標設定の考え方基本計画 P64～P67 参照

1. 調査結果の推移



年	人 (単位)
H19	80,234 (基準年値)
H20	79,313
H21	83,487
H22	144,069
H23	
H24	
H24	100,000 (目標値)

※調査方法：関連施設の入込み客数

※調査月：1月から12月実施、翌年1月取りまとめ

※調査主体：大野市

※調査対象：平成大野屋、越前大野城、民俗資料館、武家屋敷旧内山家

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 越前おおの結ステーション整備事業（大野市、大野商工会議所）

事業完了時期	【済】平成22年度
事業概要	旧小学校跡地に、まちなか観光・商店街情報等を提供する「輝(キラリ)センター」、地元の逸品を広く取り扱う店舗とフリーマーケットが開催可能な「越前おおの結楽座」、歴史的建造物を移築し休憩所等として利用する「藩主隠居所(無料休憩所)」、「多目的広場兼駐車場」等を備えた交流・観光拠点を整備した。
事業効果又は進捗状況	平成20年4月 結ステーションの基本計画を策定 平成20年10月～平成22年8月 施設ごとに順次着工 平成21年4月 輝センター、大野商工会議所会館、まちなか交流センターが供用開始 平成21年8月 多目的広場兼駐車場Aが一部供用開始 平成22年4月 越前おおの結楽座、時鐘、多目的広場兼駐車場A・Bが供用開始 平成22年9月 藩主隠居所(無料休憩所)供用開始

②. 武家屋敷旧内山家活用事業（大野市）

事業完了時期	【実施中】平成9年度～
事業概要	武家屋敷を解体復元した旧内山家において、年間を通じたイベント・サービスを実施する。
事業効果又は進捗状況	本事業は、武家屋敷及び庭園を復元し展示しているのみならず、屋敷内での抹茶サービスや囲炉裏での焼餅などの体験を提供することで、まちなか観光を目的とする来訪者の期待に応えている。

③. 越前大野城ライトアップ事業（大野市）

事業完了時期	【実施中】平成4年度～
事業概要	越前大野城を夜間にライトアップすることにより、イメージアップを図る。
事業効果又は進捗状況	ライトアップすることで夜空に城が浮かび上がり、来訪者に対し、特に商店街でのイベント開催時において、城下町を印象づけている。越前大野城築城430年祭を機に、越前大野城の年間入込客数が増加した。まちのシンボルである「越前大野城」の魅力をさらに発信していくことで、引き続き年間入込客数の増加が見込める。

④. (i) 平成大野屋オリジナルブランド開発事業、(ii) 平成大野屋伝承料理提供事業、(iii) 平成大野屋事業（㈱平成大野屋）

事業完了時期	【実施中】(i)平成19年度～、(ii)平成19年度～、(iii)平成8年度～
事業概要	まちなか観光拠点施設「平成大野屋」を拠点にして、大野の産品や歴史にこだわったまちづくり会社のサービスを提供する。
事業効果又は進捗状況	結ステーションの関連施設となった平成大野屋(平成10年度から平成16年度にかけて整備済)においては、㈱平成大野屋が、地元産にこだわった加工品開発や物品販売、地元で伝わる料理をメニューとして提供する茶屋を実施している一方、越前おおの結楽座にて物品販売も展開し、市内取引業者の充実を図っている。

⑤. (i) まちなか遠足誘致促進事業、(ii) シルバーエイジまちなか散策誘致事業、(iii) 観光セールス事業（大野市）

事業完了時期	【実施中】(i)平成15年度～、(ii)平成20年度～、(iii)平成19年度～
事業概要	小・中・高校生のまちなか観光を中心とした遠足、高齢者及び団塊世代のまちなみを巡る散策ツアー、バス会社等に対するツアーなどを企画提案し、様々な年齢層の誘客を進める。
事業効果又は進捗状況	関東、中京及び関西方面における観光商談会に積極的に参加するとともに、学校や老人ホーム等へのPRを実施し、越前おおのへの来訪を勧めている。まちなか遠足の誘致については、歴史あるコンパクトな街並みが好評で参加者数が増加している。高齢者を対象とするツアーについても参加者数が増加している。

3. 目標達成の見通し及び今後の対策

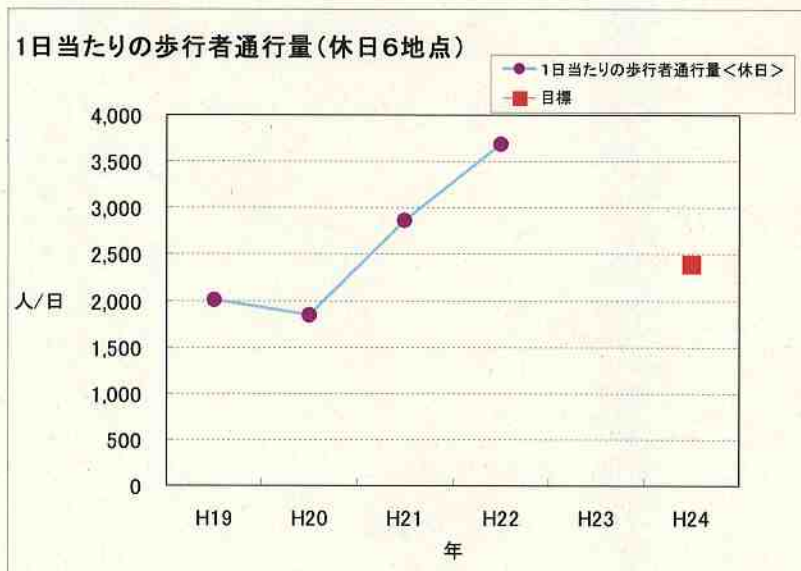
- ・越前おおの結ステーションの供用開始、「越前大野城築城 430 年祭」の効果をうまく活かし、リピーターの確保を進めるなど、目標達成に向けて取り組むこととしている。
- ・特に、「市民力」「地域力」を活かしたまちづくりにシフトし、これまで以上に越前おおのの人や歴史、文化、あるいは自然環境や食などの本市が誇る魅力を全国に発信し、より多くの誘客に努めていくことから、目標達成可能であると見込まれる。

Ⅲ. 目標毎のフォローアップ結果「(商店街を中心としたまちなか生活の充実)」

「1日当たりの歩行者通行量(休日6地点)」

※ 目標設定の考え方基本計画 P68～P73 参照

1. 調査結果の推移



年	人/日(単位)
H19	2,001 (基準年値)
H20	1,845
H21	2,869
H22	3,684
H23	
H24	
H24	2,400 (目標値)

※調査方法：歩行者通行量調査(毎年度10月実施)

※調査月：平成22年10月実施、11月取りまとめ

※調査主体：越前おおの中心市街地活性化協議会

※調査対象：平成大野屋前、ねんりんの里前、七間本陣付近、市観光協会付近、旧Fマート前、越前大野駅前の休日朝7時から夜7時までの歩行者通行量

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 五番商店街活性化対策事業(地元で構成するまちづくり会社)

事業完了時期	【未】平成24年度
事業概要	空き店舗(旧Fマート)で、五番商店街再生の核となる店舗及び公共的施設を整備する。
事業効果又は進捗状況	平成21年度において、五番商店街全体を活性化させるための元気再生計画策定に取り組み、平成22年度においては、経済産業省の支援を受けて事業着手に向けた検討を行った。本事業により、不足業種を補完し、商店街の魅力向上と来街者増加を目指す。 <今後のスケジュール> 平成23年度 店舗運営のための予備調査及び工事計画の策定 平成24年度 工事着手

②. 越前おおの結ステーション整備事業(大野市、大野商工会議所)

【再掲】P3参照

- ③. まちなか遠足誘致促進事業、シルバーエイジまちなか散策誘致事業、観光セールス事業
【再掲】 P4 参照

- ④. JR越美北線ラッピング列車運行事業（大野市公共交通活性化協議会）

事業完了時期	【実施中】平成 25 年度
事業概要	JR越美北線の列車の車体に大野市のイメージに合ったデザイン(3種類)を施したラッピング列車を運行する。
事業効果又は進捗状況	平成 22 年度 デザイン及び運行計画を決定 平成 22 年度～平成 25 年度 運行

3. 目標達成の見通し及び今後の対策

- ・平成 22 年の歩行者通行量調査では 3,684 人となり目標値を上回った。商店街や七間朝市が基本計画認定後に百円市、ワゴン市(毎月第 1 日曜、他)を始めて定着してきていること、さらに五番商店街における「地産地消テントマーケット」など、これらによる集客効果が出てきていると考えられる。
- ・結ステーションが供用開始されたことで、輝（キラリ）センターや越前おおの結楽座、平成大野屋等での観光、商店街案内が本格化し、来訪者を効果的にまちなかへ誘導することができる。また越前大野城築城 430 年祭を機に商店街や商工会議所による商業・サービスの魅力強化を図るための取組みが新たに始まるなど動きが出てきていることから、目標達成可能であると見込まれる。
- ・今後とも基本計画掲載事業を積極的に推進していくとともに、空き店舗の活用事業が具体化した段階など、必要に応じて、基本計画への事業の追加を検討していく。